

## 寄贈図書リスト

## 理科年表

国立天文台, A 6 判, 1058 p, 1,100 円, 丸善株式会社, 研究資料

## 宇宙の果てにせまる

野本陽代, 新書判, 209 p, 640 円, 岩波書店, 読み物

## 宇宙のシナリオ

大澤清輝, 四六判, 172 p, 1,600 円, 地人書館, 読み物

## 世界最大の望遠鏡「すばる」

安藤裕康, A 5 判, 226 p, 1,400 円, 平凡社, 解説書

## 月報日より

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切, 翌月に発行の「天文月報」に掲載致します。校正をお願いしておりますので, 締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい。

e-mail で [gjjimu@tenmon.or.jp](mailto:gjjimu@tenmon.or.jp)宛, なお, 原稿も必ず 0422-31-5487迄 Fax でお送り下さい。

## 人事公募

標準書式: なるべく, 以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員 (ポスト・人数など), 2. (1) 所属部門・所属講座, (2) 勤務地, 3. 専門分野, 4. 職務内容・担当科目, 5. (1) 着任時期, (2) 任期, 6. 応募資格, 7. 提出書類, 8. 応募締切・受付期間, 9. (1) 提出先, (2) 問合せ先, 10. 応募上の注意, 11. その他 (待遇など)

## 国立天文台教官公募

1. 助教授 1 名
2. (1) 電波天文学研究系  
(2) 東京都三鷹市
3. 電波天文学 (VLBI 分野)
4. VERA (天文広域精測望遠鏡) 計画の推進を中心とする地上およびスペース VLBI 天文学の技術開発と観測的研究を指導的に進める助教授を求めます。
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)~(4)の概要がわかる書類。

8. 1999 年 4 月 15 日 (木) 必着

9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

- (2) 〒 384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山

国立天文台・電波天文学研究系主幹

中井直正

TEL:0267-98-4392

E-mail:nakai@nro.nao.ac.jp

10. 封筒の表に「電波天文学 (VLBI 分野) 助教授人事応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

1. 助手 1 名

2. (1) 位置天文天体力学研究系 宇宙計量研究部門  
(2) 東京都三鷹市

3. 重力波実験

4. 国立天文台では, 全国の関連研究者との共同研究プロジェクトとして, 重力波検出用の 300 m レーザー干渉計 (TAMA300) の開発研究を進めています。このプロジェクトに積極的に参加して, 装置組み上げや性能達成, 関連する技術開発などの推進等に意欲的な若手の実験研究者を求めます。

5. (1) 決定後なるべく早い時期

6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上

7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人 2 名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項 (1) ~ (4) の概要がわかる書類。

8. 1999 年 4 月 15 日 (木) 必着

9. (1) 〒 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一

- (2) 国立天文台・位置天文天体力学研究系主幹

藤本真克

TEL:0422-34-3622

10. 封筒の表に「重力波実験分野応募書類在中」と朱記



し、郵送の場合は簡易書留でお送りください。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

1. 助教授 1名
2. (1) 所属部門：天文学データ解析計算センター  
(2) 東京都三鷹市
3. データベース天文学
4. 立ち上がりつつあるすばる望遠鏡や、野辺山宇宙電波観測所のデータや将来の電波の計画等、大量のデータを生み出す装置の進展を考え、波長横断的な多波長データベース天文学の研究開発の中心となり、またそれを使っての天文学に情熱をもって取り組み、かつセンターの共同利用を推進する助教授を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)～(4)の概要がわかる書類。
8. 1999年4月15日(木)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
(2) 国立天文台・天文学データ解析計算センター長  
近田義廣  
TEL:0422-34-3538
10. その他：封筒の表に「天文学データ解析計算センター応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送りください。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

1. 助手1名
2. (1) 光学赤外線天文学・観測システム研究系  
(2) 東京都三鷹市 (将来ハワイもありうる)
3. 光学赤外線天文学
4. すばる望遠鏡を中心とした観測的・開発的研究を進める若手研究者を求めます。
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書 (写真貼付), (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)～(4)の概要がわかる書類。
8. 1999年4月23日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1

国立天文台長 小平桂一  
TEL: 0422-34-3650

- (2) 181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
光学赤外線天文学・観測システム研究系主幹  
安藤裕康  
TEL: 0422-34-3521

10. 封筒の表に「光赤系助手人事応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行います。

1. 助教授1名, 助手1名
2. (1) 電波天文学研究系 (助教授)  
太陽物理学研究系 (助手)  
(2) 助教授については長野県南佐久郡南牧村野辺山  
または東京都三鷹市,  
助手については東京都三鷹市
3. 太陽物理学
4. 国立天文台の太陽分野 (電波天文学研究系の太陽電波分野および太陽物理学研究系) では, その中心プロジェクトとして, 2004年打ち上げ予定の Solar-B 衛星計画を推進しています。本計画の装置開発とそれに基づく観測的研究において中心的役割を果たす助教授, および本計画に積極的に参加して太陽物理学研究を意欲的に進める助手を求めます。
5. 決定後できるだけ早い時期
6. 大学院修士課程修了またはそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) 及び主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合は推薦書の他に, 前記事項(1)～(4)の概要がわかる書類
8. 1999年4月23日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
(2) 〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山  
国立天文台・電波天文学研究系主幹  
中井直正  
TEL: 0267-98-4392  
E-mail:nakai@nro.nao.ac.jp  
〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台・太陽物理学研究系主幹  
桜井 隆  
TEL: 0422-34-3716  
E-mail: sakurai@solar.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「太陽分野助教授 (または助手) 応募書類在中」と朱記し、郵送の場合は簡易書留でお送り下さい。選考は国立天文台運営協議員会において行ないます。



1. 助教授 1名, 助手 1名
2. (1) 天文機器開発実験センター  
(2) 東京都三鷹市
3. 観測天文学および機器開発研究
4. 天文機器開発実験センターでは, 広い意味での天文観測機器の開発とそれを用いた観測天文学を行ないつつ, 共同利用可能な開発環境の整備に努めています. 独自の機器開発に関連したプロジェクトの実現を目指しながら, 共同利用施設としての当センターの役割を良く理解し, 運用の責任を担う助教授と助手を求めます. なお, 当センターは, 将来構想として, 光赤外波長域のみならずスペースや電波など広い分野を含んだ総合的機器開発の中核組織への移行を目指しています.
5. (1) 決定後なるべく早い時期
6. 大学院修士課程修了又はそれと同等以上
7. (1) 略歴書, (2) 研究歴 (これまでの研究内容の概要を含む), (3) 研究論文リスト (査読論文とその他を区別し, 共著の主要論文には役割分担を記すこと) および主要論文別刷, (4) 研究計画書, (5) 本人について意見を述べられる人2名の氏名と連絡先, (6) 他薦の場合には推薦書の他に, 前記事項(1)~(4)の概要がわかる書類.
8. 1999年4月23日(金)必着
9. (1) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台長 小平桂一  
(2) 〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1  
国立天文台 天文機器開発実験センター長  
小林行泰  
TEL: 0422-34-3865  
E-mail: yuki@merope.mtk.nao.ac.jp
10. 封筒の表に「天文機器開発実験センター助教授人事応募書類在中」または「天文機器開発実験センター助手人事応募書類在中」と朱記し, 郵送の場合は簡易書留でお送りください. 選考は国立天文台運営協議員会において行ないます.

## ハワイ観測所 RCUH 雇用

1. 広報担当リサーチフェロー, 1名
2. (1) 国立天文台ハワイ観測所  
(2) アメリカ合衆国ハワイ州ヒロ
3. 天文学及び関連分野
4. 国立天文台ハワイ観測所にて, 主として日本向けの広報活動を担当する. 主な職務内容としては, (1) ハワイ観測所が行う広報活動の推進, (2) すばる望遠鏡で得られた最新成果の公表補助, 及びそれを用いた科学ジャーナリズムの推進, (3) 撮影・報道活動のアレンジ, (4) 展示, (5) 日本語によるウェブページ作成, (6) 見学者の案内, (7) ニュースレターの発行, (8) 広報ソースの準備と保管, (9) 広報関連物の翻訳など. 基本的には,

これらに勤務時間の50%をあてる. また, 本人が興味あるテーマについての研究に残りの50%の勤務時間をあてる事ができる.

5. (1) 決定後できるだけ早い時期, (2) アメリカ国籍を持たない場合には, ビザの制限により最長6年まで.
6. 天文学及び関連分野にて修士以上の学位を有すること. 普通自動車免許を有し, 高度4200mにて勤務可能なこと.
7. (1) カバーレター (職種識別番号を記入のうえ, 応募の動機や勤務に当たっての抱負等を記載), (2) 履歴書 (学歴, 職歴がある場合には給与も記載), (3) 本人について意見を述べられる人3人の氏名と連絡先電話番号, (4) 課程修了証明書のコピー.
8. 1999年3月31日
9. (1) Director of Human Resources, Research Corporation of the University of Hawaii (RCUH) 2530 Dole Street, Sakamaki Hall D-100, Honolulu, HI 96822  
(2) 国立天文台ハワイ観測所教授 林正彦  
Tel: +1-808-934-5071 Fax: +1-808-934-5984  
e-mail: masa@subaru.naoj.org
10. 応募書類は英語で作成の上, 職種識別番号「99036」を記載し送付ください.
11. 雇用形態: ハワイ大学研究公社 (RCUH) を通じて雇用されますが, 観測所のスタッフとして勤務します.

## 研究会・集会案内

### 南天にひろがれ宇宙ロマン6 開催のお知らせ

名古屋大学・天体物理学研究室が毎年行っている天文学講演会です. 今回で6回目になります. 南米チリのラスカンパナス天文台内に設置した, 名古屋大学の4メートル電波望遠鏡「なんてん」での研究成果を広く一般の方々に報告するために開催しています. 今回は, カリーナ・フレアの発見, 大マゼラン雲の分子雲の全面観測をはじめ, 南天の様々な興味深い天体の詳細観測をはじめ, 南天の様々な興味深い天体の観測成果を報告します.

詳しくは下記の連絡先におたずねください.

日 時: 平成11年4月3日(土) 13:30 開会~17:00  
会 場: 中区役所ホール (名古屋市中区・地下鉄東山線「栄」下車5分. JR名古屋駅より所要時間約20分)  
講 師: 第I部 福井康雄 (名古屋大学大学院教授)  
水野 亮 (名古屋大学大学院助手) 他  
第II部 山田 卓 (四日市市立博物館顧問)



参加費：500円（名古屋大学星の会会員，および高校生  
以下は無料）

連絡先：〒464-8602 名古屋大学理学部・  
天体物理学研究室

TEL: 052-789-2839

FAX: 052-782-3951

主 催：名古屋大学・なんてん電波天文台

シングル 食事なし 生協特別料金 8,000円  
(税金・サービス料込)

シングル 朝食付 生協特別料金 9,500円  
(税金・サービス料込)

○お申込方法

下記の事項を郵送・FAXまたは電子メールにて，京  
都大学生協コープ旅行センターへお早めにお申し込み  
下さい。

1. 氏名（漢字・フリガナ）
2. 連絡先（住所・電話番号・FAX番号）
3. 希望宿泊日
4. 食事条件
5. その他 ※ツインルーム希望等はお問い合わせ下さい。

○お申込先

京都大学生協 コープ旅行センター

TEL: 075-752-2430 FAX: 075-752-2510

〒606-8317 京都市左京区吉田本町 京都大学内

E-mail: coop-travel@mail.seikyoku.ne.jp

担当：飯塚（いづか）

※申込後，予約確認書・ホテル案内などをFAXもしくは  
は郵送いたします。

○お申しめきり

1999年3月11日(木)

○取消・変更料について

宿泊予約後，キャンセルされる場合には，宿泊料金に  
対して下記の取消・変更料が必要となりますので御注  
意下さい。

2日前まで 500円，前日 20%，当日 80%  
無連絡不泊 100%

共同利用・共同研究

天文学教育研究大学連合からのお知らせ

天文学教育研究大学連合では，ハワイ島ヒロ市に，宿  
泊施設を1999年1月より1年間借り上げました。これ  
は主に，大学院生（どの大学でも可）がすばるの観測装  
置の立ち上げなどに参加しやすくするための措置です  
が，すばる以外の観測などでも，天文学に関連のある用  
務であれば利用できます。余裕があればスタッフの利用  
も可能です。

関心のある方は，以下の方々のところに詳しい資料と  
利用の手引がありますのでお問い合わせ下さい。

東北大学大学院理学研究科天文学専攻 谷口義明

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻 岡村定矩

名古屋大学大学院理学研究科素粒子・

宇宙物理学専攻 佐藤修二

京都大学大学院理学研究科

物理学宇宙物理学専攻 大谷 浩

舞原俊憲

天文学教育研究大学連合  
運営委員長 岡村定矩

★1999年秋季天文学会年会は，  
九州大学（福岡）にて，10月7日（木）から  
9日（土）まで開催されます。

年会案内

春季天文学会宿泊等のご案内

平成11年3月25日(木)～27日(土)にかけて京都大学  
で開催される春季天文学会の宿泊を，京都大学生協がお  
世話いたします。

○宿泊ホテル

ホリディイン京都（京都市左京区高野西開町36・北  
大路通高野橋東詰南下る）

JR京都駅より市バス約40分，京都大学より市バス約  
10分

会務案内

正会員各位

社団法人日本天文学会 理事長 尾崎洋二

1999年度春季総会開催のお知らせ

一同封の返信用葉書で3月23日(火)までに  
到着するようご投票を！

下記の通り1999年度春季総会を開催いたしますので，  
ご出席下さるようご案内申し上げます。



総会は本会の最高決定機関で、総会成立には正会員の5分の1以上の出席が必要で(定款第42条)。欠席される場合には、下記の議案および説明をよくお読みの上、次の(1)または(2)のどちらかの対応をして下さい。いずれの場合も、総会出席とみなされます。

(1) 綴じ込みの総会返信用葉書(以下「葉書」と呼ぶ)を用いて賛否の意志を表明する。

(2) 他の出席予定者の正会員に表決権の行使を委任する。  
「葉書」は、3月23日(火)までに天文学会事務室に到着するように投函して下さい。「葉書」には切手を貼る必要はありません。なお、下記の「投票および委任状の書き方」を参照して下さい。

#### 1999年度春季総会

日時：1999年3月26日(金)17時00分～18時15分

場所：D会場

#### 議案の内容と説明

##### 第1号議案 1998年度事業報告

天文月報1999年3月号193～195ページ参照

##### 第2号議案 1998年度収支決算報告、監査報告

天文月報1999年3月号196～200ページ参照

#### 「投票および委任状の書き方」

総会に出席できない会員は、綴じ込みの総会返信用「葉書」で議案に対する賛否の意志表示をするか、委任状を提出して下さい。(委任状はとくに指定の用紙はありません。)

賛否の意志表示をされる方は、それぞれの議案について「賛成」、「反対」のいずれかを○で囲んで下さい。賛成・反対以外にご意見があれば、所定の欄に記入し、書ききれないときは別紙に書いて事務室宛にお送り下さい。

なお、次の投票は無効となり、出席会員数に数えません。

- 1) 所定の「葉書」を用いないもの。
- 2) 会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 氏名を自署していないもの。
- 4) 投票権のない者からの投票。
- 5) 2重投票

次の票は出席会員数には入れるが、棄権票として扱います。

- 1) 賛成、反対の意思表示をせず、意見だけを書いた票。
- 2) 白票。

委任状については、次の場合に無効となります。

- 1) 委任正会員の氏名、自署、捺印のいずれかを欠くもの。
- 2) 委任正会員の会員番号、住所(または勤務先)の両方を欠くもの。
- 3) 被委任正会員の氏名を欠くもの。
- 4) 被委任正会員が総会に出席しない場合。
- 5) 被委任正会員として、単に役職名の“会長”または“議長”と書かれたもの。

#### 〔資料1〕

### 社団法人 日本天文学会 1998年度 事業報告書

1998年度は、本会創立91年、社団法人設立後65年にあたる。

又、1996年12月24日に定款変更が認可され、会計年度が1月1日から12月31日となった。

#### ア) 出版物の刊行

- 1) 欧文研究報告 (Publications of the Astronomical Society of Japan) : 第50巻1号～6号(偶数月25日発行)
- 2) 天文月報 : 第91巻1号から91巻12号まで毎月20日発行
- 3) 年会予稿集 : 1998年春・秋季年会2回

#### イ) 年会の開催

##### 1) 1998年春季年会

◇記者会見 : 3月15日(日)東京都立大学91年館  
年会講演から3トピックスを選び、報道機関と会見し資料を提供した。

◇年会 : 3月16日(月)～3月18日(水)  
東京都立大学教養部

◇参加者 : 633名(うち学生255名)

◇講演数 : 376(口頭 : 234, 口頭+ポスター : 137, ポストデッドライン : 5)

◇懇親会 : 155名

◇天文教育フォーラム :

「“すばる”に期待する天文普及」参加者130名

◇公開講演会 : 都立大学講堂 参加者 : 100名

私達は宇宙を理解できるか?

(東北大学助教授, 谷口義明)

宇宙をX線でのぞく

(京都大学教授, 小山勝二)

◇保育室 : のべ9人の利用者

##### 2) 1998年秋季年会

◇記者会見 :

9月30日(水)山形大学先端科学棟大学院セミナー室  
年会講演から4トピックスを選び、報道機関と会見し資料を提供した。

◇年会 :

10月1日(木)～10月3日(土)山形大学教養教育部の5会場

◇参加者 : 571名(うち学生235名)

◇講演数 : 410(口頭 : 250, 口頭+ポスター : 159, ポストデッドライン : 1)

◇特別講演会 : 10月2日(金)16時～17時

「プレゼン道入門—科学研究における口頭発表—



ポスター発表の効果的手法について]

松田卓也(神戸大)聴衆 300名

◇懇親会: 190名(うち学生 55名)

◇天文教育フォーラム:

「新しい太陽系観を教室に、そしてすべての人に」

参加者 70名

◇公開講演会:

10月4日(日)山形市中央公民館ホール 参加者 350名

「日本がハワイに作った“すばる”望遠鏡」

—ファーストライトをめざす—

(国立天文台ハワイ観測所教授, 海部宣男)

「宇宙の放浪者: 彗星のロマンチック・ストーリー」

(国立天文台助教授, 渡部潤一)

◇保育室: のべ8人の利用者

## ウ) 総会

### 1) 1998年春季総会

1998年3月17日(火) 東京都立大学教養部 203教室  
各賞の授与式

#### ★天体発見賞

1997年度天体発見賞選考委員会の選考を経て, 評議員会で以下の9件5名に天体発見賞が贈呈されることが決定された。今年度は天体発見功労賞の該当者はなかった。

小林隆男氏: 小林彗星 (p/1997 B 1) を発見

宇都宮章吾氏: 宇都宮彗星 (c/1997 T 1) を発見

串田麗樹氏: NGC 2258 に出現した超新星 1997 E の発見

青木昌勝氏: NGC 4691 に出現した超新星 1997 X の発見

NGC 6060 に出現した超新星 1997 dd の発見

NGC 3810 に出現した超新星 1997 dq の発見

NGC 5012 に出現した超新星 1997 eg の発見

NGC 3963 に出現した超新星 1997 ei の発見

佐野康男氏: NGC 4107 に出現した超新星 1997 ef の発見

#### ★研究奨励賞

太田耕司氏: 遠方銀河の観測的研究

#### ★林忠四郎賞

牧野淳一郎氏: 重力多体問題シミュレーションによる恒星系力学の研究

#### ★欧文報告論文賞

久野成夫氏: Distribution and Dynamics of Molecular Gas in the Galaxy M51. III. Kinematics of Molecular Gas (PASJ, vol.49, 1997, pp.279-306)

中井直正氏: 同上

議題: 1. 1997年度事業報告・収支決算報告・監査報告

2. 新評議員候補者

3. その他

### 2) 1998年度秋季総会

1998年10月2日(金) 山形大学教養教育2号館 222番教室

議題: 1. 1999年度事業計画案・収支予算案

2. 次期(1999-2000年度)新役員(理事, 監事)の提案

3. 次期(1999-2000年度)評議員選挙管理委員会委員の提案

4. その他, 天体発見賞の細則変更の要望

## エ) 評議員会および理事会

〈評議員会〉

1998年1月31日(土) 国立天文台(三鷹)

議長: 佐藤勝彦氏

議題: 1. 天体発見賞5氏(9件), 天体発見功労賞の該当者はなし。

2. 林忠四郎賞1名, 欧文報告論文賞候補者1件2名(共著)

3. 研究奨励賞1名

4. 1997年度日本天文学会事業報告

5. 1997年度日本天文学会収支決算報告・監査報告

6. 第23回IAU京都総会の案件(皇室の招待)について

1998年3月17日 東京都立大学91年館

議長: 池内了氏

議題: 1. 1997年春季総会について

2. 1996年, 97年分の会費未納者の除名

1998年7月11日(土) 国立天文台講義室(三鷹)

議長: 尾崎洋二氏

議題: 1. 1999年度事業計画案・1999年度収支予算案

2. 1999年-2000年の各種委員会の新委員・評議員選挙管理委員会の新委員と林忠四郎賞選考委員会の新委員

3. IAU京都総会記念基金内規案

4. その他

1998年10月2日(金) 山形大学教養教育1号館 会議室1

議長: 小山勝二氏

議題: 1. 1998年日本天文学会秋季総会について

2. その他

〈理事会〉

1998年1月24日(土) 国立天文台講義室(三鷹)

議題: 1. 1997年度事業報告

2. 1997年収支決算報告・監査報告



3. 春季年会・公開講演会、総会について
4. 新入正会員の承認
5. 第23回IAU総会の剰余金の使途について
6. その他
  - イ. P A S Jの電子化について
  - ロ. 天文月報の原稿料の変更
  - ハ. 1999年秋季年会開催地について

1998年3月18日(水) 東京都立大学 91年館

- 議題：1. 春季年会の報告  
 2. 新入正会員の承認  
 3. 1999年秋季年会開催地  
 4. I A U京都総会基金内規(案)  
 5. その他

1998年7月4日(土) 国立天文台会議室(三鷹)

- 議題：1. 1999年度事業計画案  
 2. 1999年収支予算案  
 3. 次期新役員(案)  
 4. 秋季年会時の特別講演会  
 5. I A U京都総会記念基金内規案  
 6. 定款の付則・内規の変更  
 7. 新入正会員の承認  
 8. 理事が評議員を併任することの是非  
 9. P A S Jの電子化  
 10. その他

1998年10月3日(土) 山形大学教養教育1号館 会議室

- 議題：1. 秋季年会の報告、記者会見の開催方法  
 2. 新入正会員の承認  
 3. 新旧理事交替の引継事項  
 4. その他

オ) 委員会、国際会議、選挙、その他

1) 委員会関係

- ◇研究奨励賞選考委員会：  
1998年度の研究奨励賞の受賞候補者を募集し、選考を行った。
- ◇林忠四郎賞選考委員会：  
1998年度の林忠四郎賞と欧文報告論文賞の受賞候補者を募集し、選考を行った。
- ◇内地留学奨学金選考委員会：  
1999年度の内地留学奨学金の留学生者を募集した。しかし、応募者はゼロであった。
- ◇早川幸男基金選考委員会：  
海外渡航旅費を13名に補助した。補助額1,897,040円。応募者33名。佐藤明達氏より300万円寄付
- ◇学術交流費：

賛助会員会費で若手研究者の研究成果の発表に対して、年会旅費補助を行う。1998年度は、補助者102名、補助額1,932,200円

2) 国際会議

◇国際・国内シンポジウムの協賛(11件)・後援(5件)、および国立天文台一般公開の後援を行った。

3) 選挙

◇平成1999年度科学研究費補助金審査委員候補者の選挙を行った(7月)。

会員数

1999年1月1日現在の会員数は以下の通りである。

	正会員(学生会員)	準会員	団体会員	賛助会員	合計
'98.1.1	1,320(261)	1,442	44	51	2,857
入会	69	37	2	0	108
退会	41	77	5	4	127
移籍(増)	8	31	1	0	40
移籍(減)	32	8	0	0	40
'99.1.1	1,324(266)	1,425	42	47	2,838

(注：移籍とは正会員、準会員と団体会員間の移動のことを指す。)

(文責 庶務理事：大石雅寿)



[資料2]

社団法人 日本天文学会  
収支計算書

(1998年1月1日～1998年12月31日)

【一般会計】

収入の部

(単位：円)

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
基本財産運用収入	70,000	56,500
基本財産利息収入	70,000	56,500
会費収入	33,360,000	34,270,150
正会員会費収入	16,070,000	18,021,350
学生会員会費収入	4,610,000	4,238,400
準会員会費収入	12,150,000	11,620,400
団体会員会費収入	530,000	390,000
事業収入	23,800,000	21,013,433
欧文研究報告発行事業収入	13,450,000	10,467,960
購読料	5,040,000	5,051,486
掲載料	6,110,000	3,882,052
別刷代	2,300,000	1,534,422
天文月報発行事業収入	5,000,000	4,758,578
購読料	1,050,000	899,744
別刷代	350,000	799,634
広告料	3,600,000	3,059,200
年会事業収入	5,350,000	5,786,895
予稿集頒布収入	1,900,000	2,324,500
参加費	3,000,000	3,217,000
雑収入	450,000	245,395
補助金等収入	5,300,000	5,130,000
文部省刊行補助金収入	4,400,000	4,480,000
公開講演会補助金収入	900,000	650,000
寄付金収入	50,000	0
寄付金収入	50,000	0
印税収入	2,600,000	2,257,048
星座早見印税収入	2,000,000	1,726,200
その他の印税収入	600,000	530,848
雑収入	1,280,000	1,343,846
受取利息	80,000	98,198
特別企画収入	300,000	196,932
その他の収入	900,000	1,048,716
繰入金収入	573,612	2,389,893
消費税繰入	573,612	2,389,893
当期収入合計(A)	67,033,612	66,460,870
前期繰越収支差額	27,032,177	27,032,177
収入合計(B)	94,065,789	93,493,047

支出の部

勘定科目 大・中・小科目	予算額	決算額
事業費	48,540,000	45,094,406
欧文研究報告発行事業費	22,760,000	20,598,722
直接出版費	15,420,000	12,330,041
別刷印刷費	920,000	759,108
人謝金	3,800,000	4,893,579
送料運搬費	770,000	621,022
消耗品費	1,600,000	1,654,360
雑費	200,000	284,192
天文月報発行事業費	50,000	56,420
天文月報発行事業費	18,380,000	17,379,090
直接出版費	10,700,000	10,098,049
別刷印刷費	380,000	622,125
人謝金	1,050,000	1,029,840
送料運搬費	2,470,000	2,261,998
消耗品費	3,000,000	2,869,768
雑費	560,000	497,310
年会事業費	220,000	0
予稿集印刷費	7,400,000	7,116,594
人謝金	2,600,000	1,970,955
送料運搬費	1,200,000	985,610
消耗品費	600,000	373,879
消人雑費	1,200,000	1,531,581
雑費	500,000	545,860
雑費	1,000,000	1,029,295
雑費	300,000	679,414
管理費	23,630,000	19,704,363
人件費	8,300,000	7,959,446
謝金	300,000	718,990
会議費	300,000	202,151
負担金	170,000	157,000
租税公課	1,700,000	0
旅費交通費	1,300,000	1,049,620
送付通信費	2,300,000	1,124,924
什器備品費	1,500,000	2,115,036
消耗品費	1,000,000	1,101,485
印刷製本料	1,800,000	1,181,013
光熱水費	250,000	254,663
賃借料	1,500,000	1,345,099
保険料	100,000	83,850
諸手数料	200,000	231,823
修繕費	500,000	90,450
書籍購入費	600,000	496,736
特別企画調製費	110,000	48,195
雑費	250,000	93,882
内地へ繰入金支出	250,000	250,000
有価証券購入支出	1,200,000	1,200,000
特定預金支出	1,680,000	1,679,800
退職給与引当預金支出	180,000	179,800
減価償却引当預金支出	1,500,000	1,500,000
予備費	20,215,789	—
当期支出合計(C)	94,065,789	66,478,569
当期収支差額(A-C)	△27,032,177	△17,699
次期繰越収支差額(B-C)	0	27,014,478



【特別会計】 収支計算の部 (単位：円)  
(1998年1月1日～1998年12月31日)

会計種目	科目	予算額	決算額
学術 交流費	収入の部		
	賛助会員会費収入	2,000,000	1,980,000
	受取利息	1,500	1,500
	当期収入合計(A)	2,001,500	1,981,500
	前期繰越収支差額	1,608,337	1,608,337
	収入合計(B)	3,609,837	3,589,837
	支出の部		
	学術交流費	2,000,000	1,932,200
	雑費	3,000	3,385
	当期支出合計(C)	2,003,000	1,935,585
	当期収支差額(A)-(C)	△1,500	45,915
	次期繰越収支差額(B)-(C)	<b>1,606,837</b>	<b>1,654,252</b>
	内地留学 奨学金	収入の部	
基本財産利息収入		48,000	33,090
一般より繰入金収入		250,000	250,000
当期収入合計(A)		298,000	283,090
前期繰越収支差額		46,925	46,925
収入合計(B)		344,925	330,015
支出の部			
奨学金支出		250,000	250,000
雑費		3,000	1,890
当期支出合計(C)		253,000	251,890
当期収支差額(A)-(C)		45,000	31,200
次期繰越収支差額(B)-(C)		<b>91,925</b>	<b>78,125</b>
研究 奨励賞		収入の部	
	寄付金収入	200,000	271,000
	受取利息	2,000	259
	当期収入合計(A)	202,000	271,259
	前期繰越収支差額	5,401,454	5,401,454
	収入合計(B)	5,603,454	5,672,713
	支出の部		
	研究奨励賞支出	100,000	100,000
	雑費	2,000	28,822
	当期支出合計(C)	102,000	128,822
	当期収支差額(A)-(C)	100,000	142,437
	次期繰越収支差額(B)-(C)	<b>5,501,454</b>	<b>5,543,891</b>
	早川幸男 基金	収入の部	
寄付金収入		500,000	3,100,000
受取利息		130,000	100,036
当期収入合計(A)		630,000	3,200,036
前期繰越収支差額		19,758,987	19,758,987
収入合計(B)		20,388,987	22,959,023
支出の部			
研究補助支出		2,000,000	1,897,040
雑費		10,000	8,505
当期支出合計(C)		2,010,000	1,905,545
当期収支差額(A)-(C)		△1,380,000	1,294,491
次期繰越収支差額(B)-(C)		<b>18,378,987</b>	<b>21,053,478</b>

会計種目	科目	予算額	決算額	
林 忠二郎賞	収入の部			
	受取利息	100,000	96,840	
	当期収入合計(A)	100,000	96,840	
	前期繰越収支差額	16,785,149	16,785,149	
	収入合計(B)	16,885,149	16,881,989	
	支出の部			
	林賞支出	400,000	200,000	
	雑費	50,000	30,755	
	当期支出合計(C)	450,000	230,755	
	当期収支差額(A)-(C)	△350,000	△133,915	
	次期繰越収支差額(B)-(C)	<b>16,435,149</b>	<b>16,651,234</b>	
	IAU 記念基金	収入の部		
		寄付金収入	0	6,432,182
受取利息		0	21,050	
当期収入合計(A)		0	6,453,232	
前期繰越収支差額		0	0	
収入合計(B)		0	6,453,232	
支出の部				
当期支出合計(C)		0	0	
当期収支差額(A)-(C)		0	6,453,232	
次期繰越収支差額(B)-(C)		<b>0</b>	<b>6,453,232</b>	

社団法人 日本天文学会  
一般会計 正味財産増減計算書  
(1998年1月1日～1998年12月31日)  
(単位：円)

勘定科目 大科目・中科目	決算額
増加の部	
資産増加額	
什器備品増加額	601,400
貯蔵品増加額	112,637
有価証券購入額	1,200,000
退職給与引当預金増加額	180,483
減価償却引当預金増加額	1,507,157
増加額合計 (F)	<b>3,601,677</b>
減少の部	
資産減少額	
当期収支差額	17,699
什器備品償却額	817,113
負債増加額	
退職給与引当金繰入額	180,483
減少額合計 (G)	<b>1,015,295</b>
当期正味財産増加額 (H=F-G)	<b>2,586,382</b>
前期繰越正味財産額 (I)	<b>42,515,175</b>
期末正味財産合計額 (J=I+H)	<b>45,101,557</b>



社団法人 日本天文学会

貸借対照表

1998年12月31日現在

(単位：円)

資産の部			負債及び正味財産の部		
勘定科目	金額		勘定科目	金額	
大科目・中科目			大科目・中科目		
<b>【一般会計】</b>					
流動資産			流動負債		
現金預金	19,704,568		未払金	14,384	
未収会費	4,070,600		前受金	263,000	
貯蔵品	1,520,019		前受会費	5,771,500	
有価証券	8,500,000				
前払金	33,900				
未収入金	754,294				
流動資産合計		34,583,381	流動負債合計		6,048,884
固定資産			固定負債		
基本財産			退職給与引当金	522,959	
投資有価証券(基本金)	8,000,000		固定負債合計		522,959
基本財産合計	8,000,000		負債合計		6,571,843
その他固定資産			正味財産	45,101,557	
什器備品	4,358,153		(うち基本金)	(8,000,000)	
投資有価証券	1,200,000		(うち当期正味財産増加額)	(2,586,382)	
退職給与引当預金	522,959				
減価償却引当預金	3,008,907				
その他固定資産合計	9,090,019				
固定資産合計		17,090,019	負債及び正味財産合計		51,673,400
資産合計		51,673,400			
<b>【学術交流費】</b>					
流動資産			流動負債		
現金預金	1,474,252		前受会費	120,000	
未収会費	300,000		流動負債合計		120,000
流動資産合計		1,774,252	負債合計		120,000
資産合計		1,774,252	正味財産	1,654,252	
			(うち当期正味財産増加額)	(45,915)	
			負債及び正味財産合計		1,774,252
<b>【内地留学奨学金】</b>					
流動資産			正味財産	4,388,125	
現金預金	78,125		(うち基本金)	(4,310,000)	
流動資産合計		78,125	(うち当期正味財産増加額)	(31,200)	
固定資産			負債及び正味財産合計		4,388,125
基本財産					
投資有価証券(基本金)	4,310,000				
基本財産合計	4,310,000				
固定資産合計		4,310,000			
資産合計		4,388,125			
<b>【研究奨励費】</b>					
流動資産			正味財産	5,543,891	
現金預金	5,543,891		(うち当期正味財産増加額)	(142,437)	
流動資産合計		5,543,891	負債及び正味財産合計		5,543,891
資産合計		5,543,891			



資産の部		金額
勘定科目	大科目・中科目	
<b>【早川幸男基金】</b>		
流動資産		
現金預金	1,553,478	
有価証券	19,500,000	
流動資産合計		21,053,478
資産合計		<b>21,053,478</b>
<b>【林 忠四郎賞】</b>		
流動資産		
現金預金	1,151,234	
有価証券	15,500,000	
流動資産合計		16,651,234
資産合計		<b>16,651,234</b>
<b>【IAU 記念基金】</b>		
流動資産		
現金預金	1,453,232	
有価証券	5,000,000	
流動資産合計		6,453,232
資産合計		<b>6,453,232</b>

負債及び正味財産の部		金額
勘定科目	大科目・中科目	
正味財産		21,053,478
(うち当期正味財産増加額)		(1,294,491)
負債及び正味財産合計		<b>21,053,478</b>
正味財産		16,651,234
(うち当期正味財産減少額)		(133,915)
負債及び正味財産合計		<b>16,651,234</b>
正味財産		6,453,232
(うち当期正味財産増加額)		(6,453,232)
負債及び正味財産合計		<b>6,453,232</b>

社団法人 日本天文学会

財産目録

【一般会計 特別会計】

1998年度(1998年12月31日)

(単位：円)

資産の部		金額	負債の部	
勘定科目	大科目・中科目		勘定科目	金額
1. 流動資産			1. 流動負債	
1) 現金	203,042		1) 未払金	14,384
2) 振替貯金 東京地方貯金局	1,856,567		2) 前受金	263,000
3) 定額貯金 東京地方貯金局	4,650,000		3) 前受会費	5,891,500
4) 郵便貯金 東京地方貯金局	656,468			
5) 普通貯金 住友信託銀行吉祥寺支店	4,573,823			
東京三菱銀行三鷹支店	3,352,288			
富士銀行武蔵境支店	650,017			
6) 定期貯金 東京三菱銀行武蔵境支店	15,016,575			
7) 貸付信託 住友信託銀行吉祥寺支店	49,700,000			
8) 未収会費	4,370,600			
9) 未収金	754,294			
10) 前払金	33,900			
11) 貯蔵品 欧文研究報告バックナンバー	932,199			
星座早見(大・小)	68,800			
月報用ファイル	190,025			
ビデオシリーズ(全7巻)	78,586			
セレスティア他 CD-ROM	196,701			
スライド集 遙かなる宇宙へ	53,708			
流動資産合計		87,337,593	流動負債合計	
2. 固定資産			2. 固定負債	
1) 什器備品	4,358,153		1) 退職給与引当金	522,959
2) 投資有価証券 住友信託銀行吉祥寺支店	12,310,000			
3) 退職給与引当預金	522,959			
4) 減価償却引当預金	3,008,907			
固定資産合計		20,200,019	固定負債合計	
資産合計		<b>107,537,612</b>	負債合計	
			正味財産	
				100,845,769



### 監査報告書

1998年度事業報告書、収支計算書及び財産目録等について、関係書類とともにその内容を監査した結果、法令および定款に照らして正当であることを認めます。

1999年1月14日 社団法人日本天文学会  
 監事 内田 豊 印  
 監事 佐藤修二 印

### その他

#### 著作権に関するメモランダム

最近、天文月報の記事が、著者のウェブ・ページなどで公開されていることがあるようです。原則として、天文月報に掲載された著作物の著作権は日本天文学会にあります（著者ではありません）。このたび天文月報編集部では、基本的なルールを守っていただき、著者によるウェブ・ページでの公開を認めることにしました。

天文月報に掲載された著作物（文、図、その他）をその著者が個人的なウェブ・ページ上に公開する場合、以下の点をおまもりください。

1. その著作物が天文月報（発行年、号、ページ記載）に掲載されたものであり、著作権が日本天文学会にあることを明記すること。

2. 天文月報編集部（geppou@tenmon.or.jp）に URL をあらかじめ連絡すること。

該当ページには天文月報のウェブ・ページ（<http://www.tenmon.or.jp/geppou>）からリンクを張る場合があります。

著者でない方（たとえば出版機関）がウェブ・ページ上で公開する場合には別に日本天文学会の許可が必要です。また、個人的なウェブ・ページ以外の形態で発表や出版する場合は、これまでどおり日本天文学会の許可が必要です。

1999年1月16日  
 （日本天文学会 天文月報編集部）

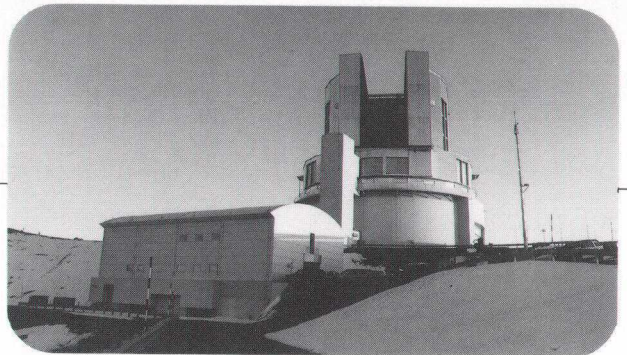
### NEWS

#### 歌会始で『すばる』

青空の星を<sup>きわ</sup>究むとマウナケア  
 動き<sup>はじ</sup>初めにしすばる<sup>た</sup>称へむ

平成11年1月14日に催された歌会始において日本天文学会の理事長を昭和36年から38年まで

勤められ、現在日本学士院長の藤田良雄・東京大学名誉教授が召人を務められ、本年ファーストライトをむかえた大型光学赤外線望遠鏡『すばる』に関する作品を詠まれた。ハワイ島のマウナケア山頂で、どこまでも続く宇宙の探求を開始する『すばる』を励まされる思いで詠まれたとのこと。今年は『すばる』望遠鏡から生まれてくる宇宙に関する新しいデータが我々を魅了することでしょう。(Mu)



〈すばる望遠鏡ドームと制御棟〉